



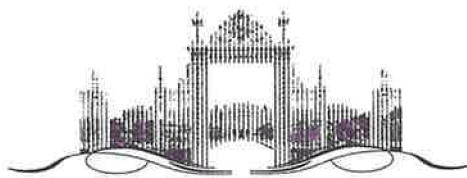
Rotary International

LEAD THE WAY

率先しよう

2006～2007年度

国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.935 / 2006.12.15

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / 東京全日空ホテルTel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／荒木昭文会長

●本日の例会／2006年12月15日第957回例会

東京赤坂ロータリークラブ
20周年記念式典・祝宴・忘年家族会

- | | | |
|------|-------------|--------------|
| (1部) | 17:30～ | 登録開始 |
| | 18:00～18:50 | 赤坂RC20周年記念式典 |
| (2部) | 19:00～21:10 | 祝宴・忘年家族会 |
| | | 「音羽ゆりかご会」 |

— ●先週報告／2006年12月8日第956回例会 —

ロータリー情報委員会：(大日方委員長)

クラブのパンフレット「ようこそ、東京赤坂ロータリークラブへ」ができました。これは、ロータリー情報委員会、会員増強委員会、広報委員会が協力して作成、竹本さんがデザインして仕上げたものです。大変よくできていると思いますので、是非これを会員増強のために活用してください。

S.A.A：(岩上委員長)

来週12月15日20周年記念式典当日、SAAの皆さんは16:50にB1ギャラクシー前にご集合下さい。

慶事披露：

誕生日祝 / 松永秀和君
(12月17日)
飯島規之君
(12月12日)



出席報告：

会員57名 / 出席30名・欠席27名 (出席規定免除者5名)

ビクター / 江澤和彦(岡山RC)、松方清(東京南RC)、岡田恭彦(東京みなとRC)、大野木孝之(東京紀尾井町RC)
計4名

ゲスト / 海沼美智子(東京恵比寿RC)、高橋愛朗(東京神宮RC)、石井昭久(八王子西RC) 計3名(卓話者1名含む)
(順不同・敬称略)



◎卓話

『いずれ地球人(世界の架け橋)、来日交換学生、日本人ホストファミリー(ホストクラブ)が育てる。』

地区青少年交換委員会 副委員長
高橋愛朗氏(東京神宮RC)
(紹介者 尾上寛君)

日頃、青少年交換関係にご協力いただきありがとうございます。また来年は、来日生1人をホストしていただき、ありがとうございます。東京赤坂RCでは、7家族がホストファミリーを引き受けて下さるとのことですが、ホストファミリーにのみ任せるのではなく、ホストファミリーの息抜きができるように、土日はホストファミリー以外の会員が、来日生を外へ

連れ出すなど、協力してクラブ全体で来日生を育てていただきたいと思います。

来日生は来日前に注意事項が記載された「来日学生の手引き」を読み、書類に「これらの契約を守ります」とサインをして来日いたします。そのため、しっかりと心構えで来日しています。さらに現在は日本を第一希望とする学生のみを受け入れておりますので、日本を大好きな学生が来ます。是非かわいがってください。

来年は10名来日します。相手国は決まりまして、フィンランド、ドイツ、ベルギー、フランス、カナダ、アメリカ、ブラジル2名、メキシコ、インドの構成になっています。来年1月位に相手国の学生が決まります。その後、書類の交換をいたします。その書類関係は、2月末までに整います。そして、ホストクラブの方々に書類のご記入をお願い致します。学生は6月下旬に来日しますので、成田へはホストファミリーの方が迎えに行ってくださいなど、温かく迎えていただければ幸いです。



～学生を受け入れてくださるホストファミリーの皆様へ～

ROTEX会長 田中優子

◎パソコン 学生にとってパソコンは母国の家族や友達とコンタクトをとるために必要なものです。そのため、もしホストファミリーのお宅にパソコンがありましたら使わせていただければ幸いです。しかし、学生による長時間にわたるパソコンの利用はホストファミリーと過ごす時間を削ることにかなりかねません。そのため、1日に何時間までなら使っていよいよ、などの提案をしてあげることが長時間の利用を防ぐことに有効であると思います。また、パソコンではチャットと言って、母国に限らず外国の人々とネット上でメッセージのやりとりを瞬時にできるプログラムがありますが、これに没頭してしまう危険があります。その点でも、パソコンの長時間使用を極力避けることが重要になってくると思います。しかし、パソコンはやはり学生にとって必要不可欠だと言っても過言ではありません。そのため、パソコンとの上手な付き合い方をホストファミリーの皆様と考えてあげて頂きたいをお願いします。

◎最後に

新しい場所で新しい人々と新しい生活を送ろうとしている学生は不安や期待で胸がいっぱいであろうと思います。日本での生活に慣れるまでホームシックになったり、異文化の中でストレスを感じることもあるでしょう。しかし、そういった時に支えとなるのがホストファミリーです。本当の子供のように接し、悩みや相談を積極的に聞いて頂きたいです。学生がホストファミリーと親密な関係になれば、メディアに没頭することも避けられ、自分の内側に溜め込んでしまったものを誰かに吐き出すことで一歩前進ができるのではないかと思います。

学生を受け入れてくださるホストファミリーの皆様もまた、不安や心配を感じておられるかと思います。青少年交換委員会をはじめ、私たちROTEXもまた皆様のお力になりたいと思っています。ROTEXは自分たち自身が留学をしていたので、ホームステイについてはエキスパートです。何かありましたら、気軽に相談をして頂きたいです。最後に、皆様のご家庭に学生を受け入れてくださいますホストファミリーの皆様へ改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

日 時 2006年12月1日（金） 例会後 13:40～15:00
 場 所 東京全日空ホテル1階 ありあけ
 出席者 石井、荒木、吉田（用）、清水、四分一、福島、
 小原、松永、庄司、岩上、竹本
 （敬称略・順不同）

決議事項

1. 2008-2009年度地区大会開催地をGUAMとする件は、賛成とすることを承認。
2. バギオ基金の維持後援の加入申込みはしないこととする。
3. 千代田グループ及び銀座日本橋グループ合同ゴルフ予選会参加費 8 万円を振込むことを承認。本年度のスポンサークラブである麻布RCへの手助け要員については、親睦委員会へ一任することを承認。
4. 創立20周年記念行事式典におけるチャリティー収益金の贈呈団体は、（財）アイメイト協会、社会福祉法人泉会、NPO法人風の子会、港区社会福祉協議会、国際ロータリー財団、米山記念奨学会の 6 団体とし、金額は 1 団体10万円とすることを承認。
5. 第4回クラブ協議会（1/26）の件を次の通り承認。
 - ①テーマ「CLP常設委員会による上半期活動報告と下期活動計画並びに、会員増強について」
 - ②各常設委員会委員長には「上半期活動報告と下半期活動計画書」を2007年1月13日までに事務局へ提出して頂く。
6. 会費減免額の改定と細則の変更を承認、このため12月22日（金）例会時に臨時総会を開催することを承認。クラブ細則第6条2節但し書きは、次の通り改定。
 「但し、7月1日を基準として、本人の申請により、本クラブならびに他クラブの通算在籍が15年以上で満75歳以上の会員の会費を25万円に、また、通算在籍20年以上で満85歳以上の会員の会費を20万円にすることができる。」
7. 12月15日20周年記念行事式典、祝宴の次第を承認。

報告事項

1. 会長報告：地区ガバナーノミニーに関する報告。
 2009-2010年度ガバナーに就任するガバナー・ノミニーとして「東京南ロータリークラブ 久邇邦明君」を指名したとの報告を谷島ガバナーより受けました。



12月8日／8件22,000円／本年度累計644,235円
 多額のご寄付をありがとうございました。（敬称略）

荒木昭文／1.高橋さん、本日の卓話よろしくお願ひします。2.橋本さん写真有難うございます。海沼美智子（地区新世代委員長）／本日は卓話で地区新世代委員会の中の青少年交換委員会がお世話になります。どうぞよろしくお願ひ致します。尾上寛／地区青少年交換委員会高橋副委員長、本日の卓話よろしくお願ひします。田村昭二／久しぶりに参加することができました。藤井さんニコニコ御苦勞様です。松永秀和／先週は100%出席祝、今週は誕生祝ダブルのお祝ひありがとうございました。尾関武男／渡部一元先生、時計塔額装入り写真ありがとうございました。西澤民夫／開戦記念日です。藤井さんイニシエーションスピーチ楽しかったです。藤井敬一／本日もたくさんのニコニコありがとうございました。

万葉集の世界への誘い

万葉集は全20巻に渡り、4,500余首の歌が収められています。しかも長い年月（約120年）に渡り、詠み人は天皇・貴族などの当時の為政者から一般庶民に至るまで各階層に渡り、幅広い歌が収められています。詠まれた場所も東国から九州までに及んでいます。今から1,200～1,300年前までに詠まれた歌々をこれ程多く収めた歌集はほかに類を見ません。私たちの何よりもの世界に誇れる文化遺産と言って良いと思います。また編者は大友家持（おおとものやかもち）と言われていますが、定かではありません。万葉集の和歌が作られたのは、大化の改新と呼ばれる政変があった大化元年（645）から、奈良時代の中ごろ、天平宝字3年（759）までの115年間ですが、年号の分からない歌もあり、ほぼ120年間と見て良いと思います。その上、都合の良いことに、全体をおよそ30年ずつの4つの時期に分けることが出来ます。

第1期：飛鳥万葉（あすかまんよう）645年から

第2期：白鳳万葉（はくほうまんよう）672年から

第3期：平城万葉（へいじょうまんよう）703年から

第4期：天平万葉（てんぴょうまんよう）729年から

それぞれの時期は、大化の改新、壬申（じんしん）の乱、持統（じとう）天皇崩御の翌年、そして天平元年からという考えによります。大化の改新は、天皇家が蘇我蝦夷（そがのえみし）・入鹿（いるか）父・子を討って、単独で政権を樹立した年であり、大きな制度の変更を行い、日本の国家体制が改まり、和歌も抒情詩として新生しました。次の壬申の乱とは近江朝を倒した天武（てんむ）天皇が即位した事件のことですが、そのことをもって柿本人麻呂（かきのものひとまる）と言う日本を代表する大歌人が誕生いたしました。つぎは持統天皇の崩御（大宝（たいほう）2年、702）が区切りとなります。持統天皇は夫の天武天皇の遺業の完成に力を尽くし、持統朝には、天武政治が完成いたしました。持統天皇の崩御に先立って、文武（もんむ）天皇と言う天武・持統の孫にあたる天皇が即位（697）していましたが、祖母の死をもって、いよいよ本格的な文武体制が出発いたしました。都が平城へ移ったのも元明（げんめい）天皇の（和銅（わどう）3年、710）であり、「古事記」（同5年、712）も「日本書紀」（元正（げんしょう）天皇の養老4年、720）も、万葉第3期に完成しています。そして最後が天平年間であり、天平という年号は天平感宝（かんぼう）、天平勝宝（しょうほう）、天平宝字（ほうじ）、天平神護（じんご）と名を変えて767年まで40年ちかくも続きました。この時期はいわゆる天平文化と言う、古代日本の文化の最盛期を迎えた年代であります。万葉集はこの盛時を最後の時期としています。万葉の歌が以上のような時代的な区分を持つと言うことは、万葉の歌が密接に時代とかわわっていたと言うことであり、30年と言う、ほぼ人間の世代に相当する時期をもって、事件を転換期としながら作風が変化するのは、万葉の歌が時代と無関係な個人の芸術的感興や、気取りのなかで歌われたのではないことを物語っていると思います。歌人がそれほど時代に左右されたことは、時代もまた平穏ではなかったことを意味するものであらうと思います。英国の詩人・ブラウニングが「世はすべて事もなし。」と言いましたが、万葉の時代も現在と同じで、とてもそのような訳にはいかなかった激動の時代であったことの証と見て良いと思います。百人一首をやる時に、このような時代背景を頭に描きながら歌を読み上げると、また違った感慨が湧いてくると思います。

以上

●次週予告／2006年12月22日第958回例会

◎ブッフエスタイル例会のため卓話はありません。